
其れは腐敗のように甘く

刑架

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

其れは腐敗のように甘く

【Nコード】

N0243F

【作者名】

刑架

【あらすじ】

すべてを嫌った主人公、ユウヤ。ある日学校で一人の少年の不幸を知らされた日、生徒たちが狂い始める。ユウヤはクラスメートのケイに犯され・・・ボーイズラブのダーク系。

s t o r y 1 ・ 蜜 (前書き)

かなりのダーク話です。

結末はまだ決定していませんが、危険です。

エロ、ボーイズラブ、グロに弱い方は見ないでください。

story 1・蜜

すべてがいやだった。

自分を捨てて出て行った両親、先生、友達、親戚。

誰も僕を知らないくせに、知ったかぶりするのが、嫌いだった。

元々人と一緒に行動するのは苦手だ。

それが理由で、僕はいつも一人だった。

＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋

「白瀬ユウヤ」

僕意外誰もがガランドウのこの空間。

朝の出席で僕の名前が呼ばれる。

「はい」と返事をする、僕の名を呼んだ教師はまた別の生徒の名を呼ぶ。

其れが終わればまた別の生徒。

何度も生徒の名前を呼び、状態を聞き。

いつも変わらない教師の低い声を聞くたびに思う「お前は機械か」と。

「今日はみんなに悲しいお知らせがある」

またかよ。

どうせ大したことじゃないんだろ。

クラス中から聞こえてくる気の抜けた返事。

教師は其れを無視して、続けた。

「××××君が亡くなった」

story 1・蜜

大して好きなやつじゃなかった。

××××××××××伏字は面倒だ。井上洋。

クラスの中では中の中。顔、座高、身長、体重、成績、すべてが平均値の平凡男。

性格は割りとおとなしい。

かといって友達が多かったわけでもなく、僕とも2〜3度話したか話さなかったかだ。

別に好意を抱いていたわけでもないのに、クラスの女子が泣き出す。そして男子がざわついた。

「洋君が亡くなったのは非常に残念だ」

お前が言うな。洋なんかどうでもいいだろ。平均値だって言ったのはどこのどいつだ。

「明日お通夜を行うらしい」

話題を変えるのがやけに早いな。

「誰かいつてやってくれ」

お前が行けよ。

教師はいつだって自分勝手だ。

そんなつもりないくせに。

いつぞやの体育祭だって。別に感動したわけでもないのに、泣いてた。

朝から根くらいニユースを聞かされたせいか、教室はずっと辛気辛かった。

僕は流されよい子。

そんな空気なんてどうでもいい。

適当にすごして、適当に帰るんだ。あの誰もいない家に。

「ようユウヤ。今日も根暗だな」

突然、後ろから抱きすくめられた。

ぎりぎり締め付けられて、全身の骨が悲鳴を上げる。

「……っう!」

「遊ぼうぜ? な、お嬢?」

非常に不本意だ。

しかし、これが現実。

僕こと白瀬ユウヤのあだ名はお嬢。

女ではない、男だ。だけど、顔つきと体型のせいで、そんなあだ名がついてしまった。

「離せ……!」

「やーだよ お嬢かつわいい^^」

じたばたとそいつの手を解こうとする。だけど僕より体格のでかいやつの手は、

なかなかほどけてはくれない。

もがいたまま、僕は男子トイレへと連れて行かれた。

全身に、怖気が走る。

いやだ、いやだいやだいやだ、離せ……！！！！

そんな叫び声が、震える僕の咽喉からもれた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0243f/>

其れは腐敗のように甘く

2011年1月27日14時13分発行